



陵雲だより

～おもしろい学校づくりで考えて行動する子供の育成～

旭川市立陵雲小学校



いじめの芽を摘む取組

校長 甲斐 信太郎

以前、私は、全校TV朝会で次のようなお話をしました。

最近、次のようなことが起きているという話がありました。

① 絵(人を叩いている絵)を見てください。
これは、だめだと思ふ人、静かに手を挙げてください。
どんな理由があっても、暴力は絶対にだめです。
 なぜ、人を傷つけるのでしょうか。人の心を考える人が多くなればよいと思います。大事なのは、運動ができることよりも、しんせつなことや思いやりの心です。

② 次にこの絵(多数で一人に嫌なことを言っている絵)を見てください。
これは、だめだと思ふ人、静かに手を挙げてください。
どんな理由があっても、いじめは絶対にだめです。
 なぜ、人の心まで傷つけるのでしょうか。傷つく人の心を考える人が多くなればよいと思います。大事なのは、勉強ができることよりも、やさしいことや思いやりが大事なのです。

これらは、「いじめ」や「暴力」です。
もし、みなさんが、このようなことをされたら、どうしますか?
 考えましょう。やり返して、相手に大げがをさせたり、もう直らなくなったり、命がなくなったりしたら、一番悲しむのは、だれですか?考えましょう。
 そうなる前に、相手にこのように言ってください。「なぜ、そんなことをするのか?」
 そして、先生やお父さん、お母さんにきちんと言うようにしましょう。

いじめや暴力をして、心や体がこわれたり、もう直らなくなったり、命がなくなったりしたら、周りの人から、ずっとひどい人間といわれます。あなたの家族や周りの人もずっと嫌なことを言われ、嫌な思いをします。
みなさんは、修理できる機械やロボットではなく、こわれやすい人間なんです。

ですから、この絵のような「いじめ」や「暴力」が起きたとき、先生方もみんなで
いじめや暴力はどんな理由があっても、絶対にだめと教えていきます。
 このことは、絶対に守ってくださいね。



本校の子供には、素直さや真摯な態度を感じ取る機会がとても多くあります。例えば、過日の児童会主催の「いじめ防止集会」では、いじめを自分事として捉え、いじめを許さないという思いや相手の心を思いやることの大切さ等について、しっかりと学んでいました。これは、一人一人の子供の心が育っていることの証ではないでしょうか。

そして、子供が共に生活している学級・学年の集団の質が良いことも大事な基盤です。子供を健やかに育てたいと願うなら、その友達も同じように高めなければならぬと、昔から言われます。自信を持てなかつたり、個人主義的であつたり、人は自分に甘く弱い心をもっています。日頃の生活でもそれは同じです。質の良い集団で育っているなら、一人一人がそれぞれに良い影響を及ぼし合います。

私たち教員が一人一人の子供に寄り添うことと同じくらいのパワーを込めて、学級全体を育てようと必死になるのは、そのためです。

子供一人一人の「いじめを許さない」という強い心を育むことはもちろんのこと、子供集団を育て、互いに質の向上を生む教育を続けてまいります。また、「心配なことがあったら、だれかに相談すること」の指導を継続し、いじめの芽を摘んでまいります。今後も家庭・地域の御支援をどうぞよろしくお願いいたします。



学力向上の取組～授業改善の推進をしています！

本校では、今年度も北海道教育委員会から学校全体で授業改善に取り組むことで児童の学力を向上させることを目的とした、授業改善チーム活用事業の指定を受けています。定期的に本校の樋口奨教諭、永山小学校の善方幸教諭、永山西小学校の花本明典教諭の3名が、各学級担任と共にTT(ティームティーチング)を行い、社会で生き抜くための資質・能力を育成する授業改善を進めています。



～いじめ防止集会～

6月24日(木)に児童会が中心となり、全校児童でいじめ防止



集会を行いました。いじめを防止・根絶する意識を高めることをねらいとして、今年度は、Zoomで各学級をつないで行いました。いじめに関わる2択クイズに赤と青の色画用紙で答える活動や今年度のいじめ防止・



根絶のローガン紹介等により、いじめについて考えました。

学習活動を進めています

本校では、時間講師や学習支援員として以下の方々が指導や支援に当たっています。

専門性を生かしたより質の高い教育活動や個に応じたきめの細かい支援等で陵雲小の子供たちの学習を支えています。

外国語専科	辻	理絵講師
家庭科専科	藤田	真澄講師
時間講師	福澤	廣成講師
時間講師	鈴木	政宏講師
学習指導員	早坂	逸人指導員
特支補助指導員	山本	要指導員
特支補助指導員	山口	美穂指導員



